

## 日本建築大賞 2011

## 日本建築家協会賞 2011

## 日本建築家協会優秀建築選 2011

※優秀建築選は 2010 年度より、200 選から 100 選に変更になりました。

### 作品募集要項

#### 1. 目的

本会は、日本国内におけるその年度の優秀な建築作品を選定記録し、同時にその中でも特に建築文化の向上に寄与し、芸術・技術の両面において総合的な価値を発揮した建築について、その活動と業績を広く社会に伝え、文化としての建築の価値を拓く事を目的としている。「日本建築大賞」、「日本建築家協会賞」からなり、100選は「日本建築家協会優秀建築選」として、JIA 新人賞、JIA25 年賞、JIA 環境建築賞のすべての受賞作品と共に日本建築家協会建築年鑑「現代日本の建築家」に収録するものとする。

#### 2. 概要

総合的に高い水準を有する作品を広く会員より推薦（自薦・他薦可）することとし、建築に関して高度な見識を持つ人材による、公正なる審査委員会により「日本建築家協会優秀建築選 2011」を選定し、その中から我が国の現代建築を代表するその年の最も優れた作品を選び、「日本建築大賞 2011」、「日本建築家協会賞 2011」とする。同時に、JIA が ARCASIA 建築賞へ推薦する推薦作品を選定する。

#### 3. 応募作品の対象

本会員により設計された、2008 年 1 月 1 日より 2010 年 12 月末日(3 ヶ年)までに竣工した建築作品であること。尚、同一作品の応募は 1 回限りとし、2010 年度実施以前に応募した作品は対象とならない。

#### 4. 応募資格及び応募の方法

- (1) 応募作品の数は制限しないものとする。応募者は本会会員であること、及び応募時に入会申込手続きを終了している者。
- (2) 応募者（推薦者もしくは自薦者）は、7.(3)の建物用途による分野を明記し、応募する作品の写真、図面、設計主旨その他応募者が必要と考える内容を A3 版 4 枚以内にまと

め、所定の応募申込書とともにA3版クリアフォルダ（注1）に収め1部を2011年8月12日（金）までにJIA本部事務局へ郵送する。

（注1）5枚までの厚みのない簡素なもの。

推奨フォルダ コクヨ品番；ラーPT3 サイズA3-E（A3ヨコ型）

※上記フォルダが手に入らない場合はサイズA3ヨコ型の物であれば  
どんな物でも構いません。

（3）応募については作品の著作権を持つ会員自身が行う。

## 5. 選考の方法

（1）JIA本部審査委員会に提出された応募作品を、審査委員会において審査し、「日本建築家協会優秀建築選」として100作品以内を選定する。※2010年度より200選から100選に変更になりました。

（2）選定された100作品の中から「日本建築大賞」、「日本建築家協会賞」候補作品5～6点を選び現地視察を行う。その結果をもとに公開審査を行い、「日本建築大賞」1点、「日本建築家協会賞」数点を選ぶ。

（3）「日本建築大賞」、「日本建築家協会賞」の候補作品に選ばれたものは作品の現地視察の前に、A3版クリアフォルダに次の内容を含めた資料を下記の順番でファイルに収める。

### ●必要事項

- ・ 実施設計図面－配置図・平面図・立面図・断面図・主要矩計図
- ・ 写真5枚以上10枚以内
- ・ 建物概要－建物用途・階数・建物の高さ・面積表・構造種別など
- ・ 2000字程度の設計要旨
- ・ 作品の所在地を示す地図

### ●ファイルする順番

- 1枚目            : 応募申込書
- 2～5枚目       : 計画説明 1～4

（4） 「日本建築大賞」、「日本建築家協会賞」の候補作品に選ばれたものは、現地視察の後に公開審査を行う。その際、上記資料のうち10分程度の説明に必要なパワーポイントのデータとして提出する。

（5） 海外作品については「日本建築家協会優秀建築選」の候補となるが、「日本建築大賞」「日本建築家協会賞」の候補から除外する。

## 6. 審査委員会の構成

審査委員会は、建築に関して高度な見識を持つ3人の審査委員から成る。審査委員は、各年に一人ずつ交替をする。

### 2011年度の審査委員

- 石堂 威氏（都市建築編集研究所代表）
- 斎藤 公男氏（日本大学理工学部 名誉教授）
- 三宅 理一氏（藤女子大学人間生活学部教授）

## 7. 選考結果の発表及び表彰

(1) 「日本建築大賞」「日本建築家協会賞」及び「日本建築家協会優秀建築選」に選ばれた作品は、JIA 新人賞・JIA25 年賞・環境建築賞とともに日本建築家協会建築年鑑「現代日本の建築家 2011」に掲載する。

(2) 「日本建築家協会優秀建築選」に選ばれた作品は、選考通知と掲載要領を同時に送付する。については2011年11月9日（水）までに掲載要領に従って下記の掲載原稿を作成し、本部事務局に提出する。

- ・ 設計要旨一ワードのテキスト
- ・ 建築概要一作品名・設計者名・所在地・建物基本データ
- ・ 図面一データ形式は後日詳細を指示
- ・ 写真一データ形式は後日詳細を指示（写真の著作権処理は応募者の責任とする。）

(3) 以下の建物用途による部門ごとの最優秀作品は、ARCASIA 建築賞に推薦される。ARCASIA 建築賞は隔年ごとの開催となるため、原則として部門別に選定された2作品を推薦する(1年に1作品選定)。応募要領については推薦の時期に該当者に通知する。ARCASIA 建築賞に準拠した建物用途による部門分けは下記により12分野とする。

- A: 住居プロジェクト
  - A-1:戸建住居
  - A-2:集合住宅（多階住宅、低層・高層アパート）
  - A-3:低所得者住宅群を含む、公共性のある集合住宅
- B: 一般建築
  - B-1: 商業施設（オフィス、ショッピングセンター、ショールーム）
  - B-2: 余暇施設（リゾート・レジャー施設、ホテル、スパ）
  - B-3: 宗教的建造物（寺社、教会、火葬場、斎場等）
  - B-4: 社会公共性のある建物（学校、医療施設、美術館、博物館）
  - B-5: 専門的施設（スポーツ複合施設、スタジアム、空港）
  - B-6: 多様性のある開発、施設（2つ以上の用途にて使用されるもの）
- C: 生産施設
  - C-1: 工場、倉庫、その他工業施設
- D: 保存プロジェクト(建築遺産の保存・復興)
  - D-1: アジア的建築文化遺産の修復・保存
  - D-2: 修復・保全した建築物、他の用途に適応させた建築物  
(修繕、部分付加された歴史的遺産、再生・再利用建築物等)

(4) 「日本建築大賞」及び「日本建築家協会賞」は JIA 新人賞とともに毎年 5 月に行われる日本建築家協会総会に於いて設計者、建築主、施工者を併せて表彰する。

## 8. 応募料・掲載料

- (1) 応募者は 1 作品につき 10,000 円を応募料として応募と同時に本部事務局に現金書留で納入する。現金書留には応募申込書のコピーを同封する。  
ただし他薦の場合はこれは免除される。
- (2) 「日本建築家協会優秀建築選」に選考された場合は、1 作品につき 60,000 円を掲載料として掲載原稿とともに本部事務局に納入する。期限までに納入されなかった場合は、「日本建築家協会優秀建築選」及び「日本建築大賞」、「日本建築家協会賞」の選考を辞退したものとす。選考された者には要望により日本建築家協会建築年鑑「現代日本の建築家」を 5 部無料で提供する。尚、納入方法は別途通知する。

## 9. 著作権

掲載作品の著作権は応募者に帰属するものとし、本会は編集出版権を持つ。また、複写権は本会に委託するものとする。

## 10. 応募送付先

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA館4F  
(社)日本建築家協会 「日本建築大賞」事務局まで  
TEL:(03)3408-7125 FAX:(03)3408-7129

# 応募申込書

日本建築大賞2011

日本建築家協会賞2011

日本建築家協会優秀建築選2011

## 事務局書込欄

申込み受付番号

分野別番号

備考

設計者 ※各項目につき複数の場合は全員分を記入 ※入会申込み手続き中の場合は、7月30日までに入会申込書を提出のこと

フリガナ 設計者氏名
所属(勤務先)
会員番号

設計協力者 ※会員外の方

氏名	所属(勤務先)	担当分野
氏名	所属(勤務先)	担当分野
氏名	所属(勤務先)	担当分野

応募作品 ※応募作品は2008年1月1日から2010年12月末日(3ヶ年)までに竣工した建築作品であること

作品名			
作品所在地(住所)			
竣工年月	西暦	年	月
分野別(用途別)分野別の内容を読み、あてはまる分野番号に○を付けてください			
A-1   A-2   A-3   B-1   B-2   B-3   B-4   B-5   B-6   C-1   D-1   D-2			
※分野別表示は、ARCASIA 建築賞に準拠した建物用途による次の12分野から選定する			
A. 住居プロジェクト A-1 : 戸建住居 A-2 : 集合住宅(多階住宅、低層・高層アパート) A-3 : 低所得者住宅群を含む、公共性のある集合住宅	B-5 : 専門的施設(スポーツ複合施設、スタジアム、空港) B-6 : 多様性のある開発、施設(2つ以上の用途にて使用されるもの)	C. 生産施設 C-1 : 工場、倉庫、その他工業施設	D. 保存プロジェクト(建築遺産の保存・復興) D-1 : アジア的建築文化遺産の修復・保存 D-2 : 修復・保全した建築物、他の用途に適応させた建築物 (修繕、部分付加された歴史的遺産、再生・再利用建築物等)
B. 一般建築 B-1 : 商業施設(オフィス、ショッピングセンター、ショールーム) B-2 : 余暇施設(リゾート・レジャー施設、ホテル、スパ) B-3 : 宗教的建造物(寺社、教会、火葬場、斎場等) B-4 : 社会公共性のある建物(学校、医療施設、美術館、博物館)			

建築主

氏名(社名)
住所(連絡先)

施工者

会社名
住所(連絡先)

応募に関する連絡先(問合せ、選考通知等)

氏名
連絡先 〒 email : TEL : FAX :